

2021年3月22日

福島みずほ 様  
食と農から生物多様性を考える市民ネットワーク  
共同代表 天笠啓祐 様  
共同代表 河田昌東 様  
福島事務所 御中

サナテックシード株式会社

弊社が開発した高 GABA トマトにご関心を頂き、また貴重なご意見を賜り感謝申し上げます。いただきました令和3年1月8日付「ゲノム編集高 GABA トマトの届出受理についての質問状」について、以下のように回答させていただきます。

## 記

### 1. 情報提供書に関するご懸念について

弊社は国の制度に従い、弊社のゲノム編集技術により作出した GABA 高蓄積トマトについて、1年を超える関係省庁との事前相談および専門家による検討の結果、科学的に従来の品種改良と同等の安全性が担保されていると判断されておりますが、この事前相談や専門家へのご説明の際には、非公開情報として全てのデータを提出しております。また消費者の皆様のご懸念である、安全性や生物多様性影響に関するデータや結論については、一企業として守られるべき経済活動に有用なデータ以外に関しまして全て公表している通りです。

### 2. GABA 高蓄積トマトについて

現在我々が食べたり栽培したりしている作物は、ゲノム配列の変化（変異）により、目的の性質に変わったものを選抜また交配して、野生の植物からより育てやすく、食べられるように作り変えてきたものです。ゲノム編集技術もその品種改良技術の一つであり、中でも弊社は、標的配列を切断した後、あとは

自然突然変異と同様に、生物が持っている修復機構が働く際にエラーが起こり、変異が導入されるというタイプ(SDN1)のものを利用しております。そのため、その取り扱いおよび安全性や生物多様性への懸念も、自然突然変異で作出されたものと同様です。

GABAの量の増減につきましては、生産者や産地によって糖度や美味しさが変わっていくように、環境や栽培方法により変動することはございます。より良いものを消費者の皆様にご提供できるように、栽培管理についても今後生産者の皆様と共に、一步一步進めていく所存です。

またGABA高蓄積トマトの作出や取扱いに係る知的財産については、法または規則に従い、適切に取り扱っております。

### 3. 社会的責任について

国際的な将来の人口増加による食糧不足、地球規模の気候変動、日本国内における農業従事者の減少など、様々な課題に対応するために品種改良や育種は重要な技術です。ゲノム編集技術も品種改良技術の一つとして、その有益性が認められ国家プロジェクトとして推進されているものと理解します。プロジェクトの成果につきましては、論文やアウトリーチ活動を通じ公表しております。今後も社会的な課題の解決に貢献できるよう、鋭意努力していく所存です。

以上